



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第5号
令和4年5月13日

四気＝川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」

学校教育目標 『自立した生徒の育成 ー自律・調和・創造ー』のもと

・自分を大切にする ・他者を大切にする ・粘り強くやり切る 生徒
・人を大切にする ・安全で安心できる ・地域や保護者とともにある 学校 づくりを目指します

学校教育ビジョン 「重点的な5つの柱から」

日々の『授業』を大切にする川越中学校・・・

落ち着いた授業の新年度が始まって1か月が経過しました。2年以上にわたり、今なお予断を許さない新型コロナウイルス感染症対策が行われる中、行事、部活動の大会やコンクールなど様々な面で例年通りに行えないことが多かった中でも川越中学校の生徒は、先生方とともに一つ一つ着実に乗り越えてきました。4月からの1か月間、登校時にさわやかなあいさつをし、8時30分からの「朝の読書」では落ち着いて本を読み、授業等の学習活動には、落ち着いた学習環境の中で、集中して取り組んでいます。道徳の授業では、自分の考えをしっかりと発言したり、仲間の発言から自分自身の考えを振り返ってみるなど、しっかりとした取組ができています。当たり前のことを当たり前にできる生徒たちに関心するとともに、生徒たちに発言がしやすい授業づくり、クラスづくり、仲間づくりをしていただいている先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。このように子どもたちが教職員の指導のもと日々の活動に一生懸命に取り組んでいます。「学校教育ビジョン」に おいても、重点的な5つの柱として「授業」があり、次の5つの「ねらい」があります。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ◆ 学び合う授業づくり | ◆ 日常的な授業改善 | ◆ 指導と評価の一体化 |
| ◆ 個に応じた学習指導 | ◆ 家庭学習の定着 | |

昨日5/9(月)に2年生で配付させていただいた文書、「(2年生)数学科における習熟度別(コース別)少人数授業について」の内容は上記の「学び合う授業づくり」と併せて、『個に応じた学習指導』も大きな目的のひとつとなります。川越中学校では、上記のねらいのもと、日々の『授業』を大切にしながら、子どもたちとともに取り組んでいきたいと思ひます。

できなかったところを「できる」ようにする取組を進めています。

『(3年)全国学調・実力テスト・(1・2年)みえスタ CBT』の実施

4月19日(火)には3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が国語・数学・理科及び質問紙という内容にて実施しました。また、5月13日(金)には1年生、そして5月23日(月)には2年生が「みえスタディ・チェックCBT」が実施されます。3年生の生徒は、テストの目的を理解し、普段の授業通りにしっかりと取り組んでいました。



【3年生の全国学調・実力テストの様子】



【落ち着いた朝の読書から】



【朝学活の様子から】



【1年生のタブレットを活用したテストの様子】

このテストの一番の目的は、各学年の生徒一人ひとりの学習内容の理解・定着状況を把握(前年度までの学習内容が確実に定着しているのか)し、できなかったところを「できる」ようにする取組や授業改善につなげることです。

1・2年生で取り組む「みえスタディ・チェックCBT」では一人1台タブレットを活用してのテストとなります。タブレットを活用したテストは今年度で2回目。1年生の先生方に指導いただきながら、はじめてのタブレットを活用したテストに粘り強く一生懸命取り組んでいました。

1学期は「中間テスト」を実施しません。 教科ごとの『 単元テスト 』を実施します。

川越中学校では、1学期の中間テストは実施しません。理由としては、1学期は多くの行事等があり十分なテスト範囲を保障できないこと。また、入学間もない1年生が学校生活、日々の授業に慣れる前に中間テストを行うことには難しい面が多くあります。「単元テスト」を実施することによって、早い段階から生徒のつまずきに対応できます。また、1学期が始まってからの単元ごとの授業(学習のまとめりごと)について、学んだことを「小テスト」や「単元テスト」で確認し理解しきれていない部分を復習したり、次の授業に活かしていきます。日常的な授業改善を繰り返しながら、これからも日々の授業を大切にする生徒を育てていきたいと思います。

【 『 各学年の単元テスト 』 実施日 】

<1年生>5/16(月)国語・数学 5/21(土)社会「自然教室の学習の時間にて」 5/27(月)英語・理科
<2年生>5/12(木)社会・英語 5/17(火)数学・国語 5/24(火)理科
<3年生>5/17(火)数学・英語 5/19(木)国語・社会 ※理科については単元テストを実施済み

川越中学校での授業の様子(学びの場)をお伝えします。 題して・・・川中版『 学(まな) v i v a (ビバ) 』です！



【1年4組 技術】の授業から

◆ 授業担当： 金森 大輔 先生

◆ 授業内容：「 技術の役割 」

～ 情報活用能力をプレゼンから ～

1人1台タブレットを活用した授業です。生徒への課題は、「自分のシャープペンにある技術を見つけよう」。普段何気なく使っているシャープペン。

これを一人ひとりがシャープペンの特徴(それぞれの部品がどんなはたらきをして、1本のシャープペン

として成り立っているのか)をタブレットを活用して、プレゼンテーション(具体的な提示をしながら説明をする)をします。タブレット上に「工夫の発見」や「部品の役割」などを書き込み、それをクラスの仲間にわかりやすく発表します。みんなにプレゼンをしてくれた「森 仁胡さん」は、『みんなにわかりやすく説明するために、矢印を使ったり、字を見やすく大きくしたりしました』と自分のプレゼンについて教えてくれました。金森先生が意図した課題に対して、「考え、調べ、見つけ、伝える」を生徒たちが楽しく学んでいる様子が印象的でした。

